

リアルタイムPCRを用いた 遺伝子発現量の評価

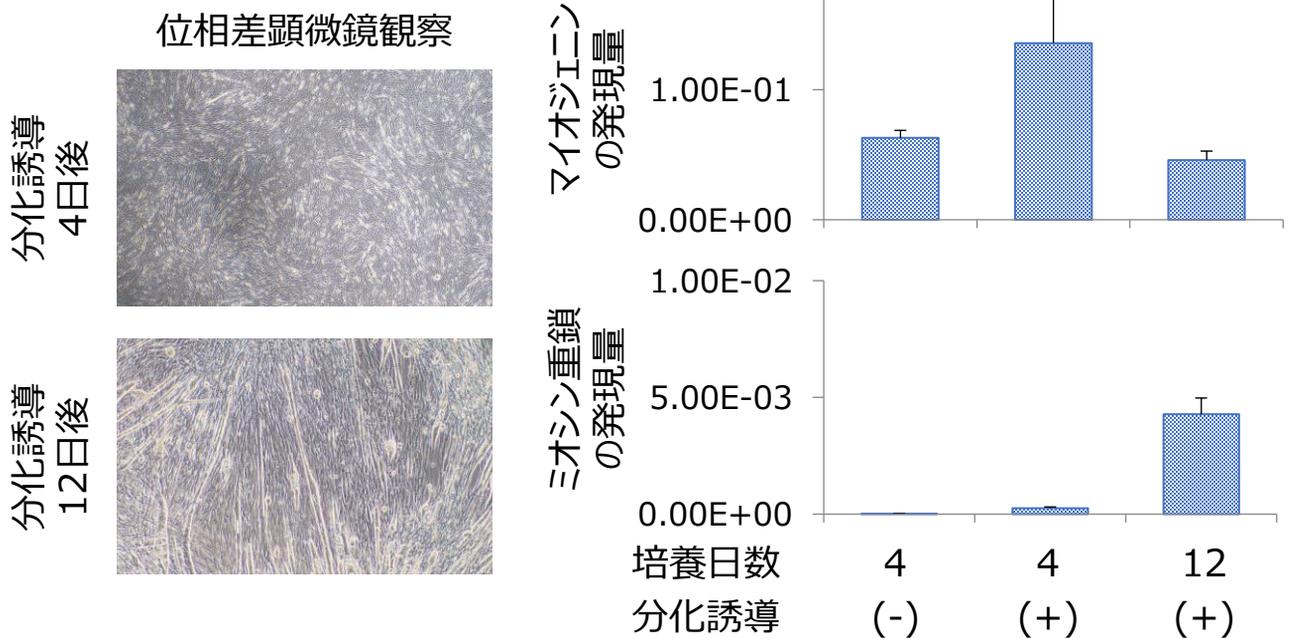


SUSCARE

1. 測定条件

マウス筋芽細胞株C2C12を低血清培地で所定の時間、分化誘導培養後、RNAを回収し、マイोजェニンおよびミオシン重鎖の発現量をリアルタイムPCRを用いて測定した。

2. 測定結果



3. 測定結果から得られる情報

形態だけでなく、分化マーカー遺伝子(この場合はマイोजェニン、ミオシン重鎖)の発現量を評価することにより、より詳細に細胞の分化の様子を確認することができます。

4. 使用機器／利用料金

[お問い合わせ](#)ください。

※細胞形態観察、RNA抽出、逆転写反応に関する装置の利用料金については別途ご相談ください。